

いの は え けい こ く

## 「猪八重 溪谷」のブラッシュアップによる地域創生

### ～NPO法人と協働による取組～

九州森林管理局 宮崎南部森林管理署 森林技術指導官 ○寺田 雄一郎

NPO法人「ごんはる」 セラピー事業部 主任 谷口 由利子

### 1 課題を取り上げた背景

森林セラピーや森林環境教育など様々な活動の場として利用されている猪八重溪谷は、北郷町森林セラピー基地、レクリエーションの森「猪八重の滝風景林」、学習の森、日本の貴重なコケの森、猪八重照葉樹林生物群落保護林、林分密度試験林など指定されるとともに、森林環境教育、森林浴や森林セラピーの場として活用されています。この活動をNPO法人と協働により、ブラッシュアップし地域の活性化に向け取り組みを行いました。



(写真1：森林環境教育風景)

### 2 取組の経過

森林セラピー協議会の組織は、国、宮崎県、日南市や地元の商工会議所など15団体によって構成され、活動地域は、日南市北郷町を拠点として猪八重溪谷などをセラピーロードとして活用しています。

この中でも「NPO法人ごんはる」は活動の企画立案を受け持つなど中心的な役割を担いその活動の一部には、五感を使った森林浴、森林セラピーツアー、森林環境教育、ノルディックウォーキング、森ヨガなを実施しています。また、森林セラピー協議会の中での宮崎南部森林管理署の役割は、国有林のフィー

(写真2：セラピー協議会 (15 団体)



ルド提供、遊歩道の整備、植物の盗採防止パトロール、森林環境教育の教材提供、メンバーとの連絡調整など実施し、地域と連携した取組を行っています。

### 3 実行結果

NPO法人と協働による取組の中で長所としては、①五重の滝などの自然が豊かである、②カクレゴケ、サガリゴケなど貴重な植物の宝庫である、③香港からの森林浴ツアーなど外国人の訪問が多い、④北郷町森林セラピー基地などの指定がある、⑤溪谷として歴史があり、地域住民に親しみ愛されている一方、短所として、①森林セラピー基地のエリア（約1600ha）は、利用出来るエリアが狭い、②バスなどの交通機関が整っておらず道路も狭い、③大雨や台風で遊歩道が崩壊しやすく立ち入り禁止になることが多い、④遊歩道等が狭いため、一度に入れる人数が限られている、⑤広報活動が不十分のため認知度が低いといったことが認められました。

### 4 考察

このような長所と弱点を踏まえて、森林管理署、日南市、NPO法人「ごんはる」などの協議会のメンバーが協力して①猪八重溪谷の良さをPRしていく、②旅行会社とタイアップしてツアー客を誘致する、③大学やコケの研究者、林分密度試験林の研究者とタイアップして、森林・林業、照葉樹林及びコケの研究の場として積極的にフィールドを提供する、④豊かな自然、癒やしの空間を保護する、⑤自然観察会や森林セラピーをリードするツアーガイドを多く養成する、⑥近年増加傾向にある外国人訪問客にも理解できる看板等を充実させる必要があります。

これらの方を目標として、「学び」と「癒し」をテーマに大学やコケの研究機関だけにとどまらず、森林環境教育や自然に興味のある人々への学びの場としてフィールドを提供し、これらを柱に関係人口等の増大を目指し、森林産業サービスとしての地域創生につなげていきたいと考えています。